

原発のこともっと知りませんか？後半

ピースチェーンはりま学集会

原発はばく大な放射能のゴミを出す。このゴミは半永久的に隔離しなければならないが、その技術はまだ人類にない。放射能はどの段階でもたれ流されている。ウラン採掘から精錬、濃縮、加工で、100万キロワットの原発一年分に必要な2500000トンのウラン鉱石から、30トンの濃縮ウランが作られた残りはゴミだ。誰も責任を持たないのちと共存できない放射性廃棄物である。

その中には190トンの「劣化」ウランがあり、これが「劣化」ウラン弾としてイラク戦争に使われ、イラクの国土にばらまかれた。私たちの使った電気が出した、「生命を奪うゴミ」の捨て場にイラクがなったのである。その汚染によって子どもたちがガン、白血病などになり、十分な医療を受けることなく、苦しみの中亡くなっていつている。被害は年々あきらかになっていくだろう。

放射能のゴミはそれだけではない。濃縮ウランが原発で燃料として使われると、同じだけの使用済み燃料と、ドラム缶1000本分の「低レベル廃棄物」が出る。低レベルといっても放射能が低いではなく使用済み燃料以外のすべてのゴミの名称で、ドラム缶に入れて地下に埋設する。

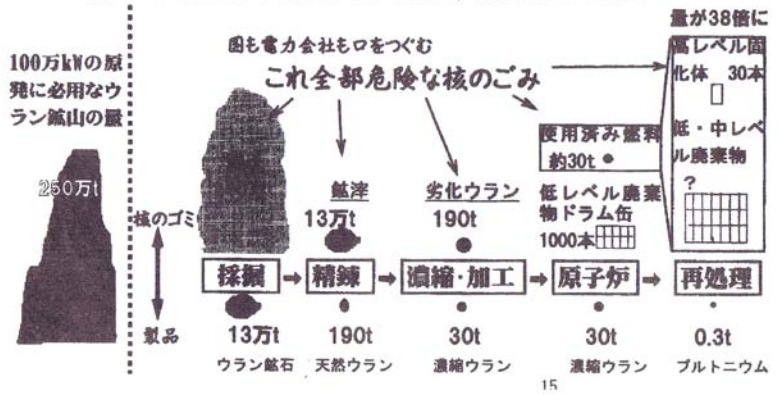
使用済み燃料を再処理し、プルトニウムを取り出す段階では、使用済み燃料の38倍の核のゴミが生み出される。それを行うのは青森の六ヶ所村再処理工場の予定だが、その再処理施設が本格稼働すればそこから環境に放出される放射能はばく大である。原発1基が1年に放出する以上の放射能を1日で放出してしまう。今世紀最大の海洋汚染と言われている。

そうして生み出されたプルトニウムを使って動かすのが高速増殖炉もんじゅである。プルトニウムの半減期(放射能が半分になる時間)は2万4千年。このような危険な発電がなぜ行われるのだろう。核燃料サイクルは国策である。歴代の首相の言を聞けば核武装の疑いも出てくる。ばく大な予算が充てられる。原発の危険性を知らせず、エコ、クリーン、温暖化対策、家計を助けるオール電化…といった広報を繰り返しているマスコミ。テレビ局にとって電力会社は最大のスポンサー。日本テレビ、読売新聞の社主は、原子力委員会委員長である。マスコミと電力会社を同時に支配している人たちがいる。大手企業は原子力グループとして連携するように構成され、利益を共有している。

純度98%プルトニウムは原爆の材料である。日本は平和利用といいながら、核武装の潜在的能力をたかめてきている。設計ミスによるナトリウム漏れ火災という大変危ない事故を起こし15年止まっていたもんじゅを今から稼働するには訳がある。

私たちは、このような危険な国策核燃料サイクルの中で暮らしている。宮崎駿監督の「つつましく暮らしていること自体が、自然を破壊しているという認識に立つとどうしていいのかわからなくなる。どうしていいかわからないところ一回行って、そこから考えないと環境問題とか自然の問題はだめなんじゃないかなって思うんです。」という言葉になぞく。

■100万kWの原発が1年間に生み出す“核のゴミ”の山



●マスコミと電力会社を同時に支配する面々

日本テレビ	読売新聞	社主・正力裕太郎	原子力委員会委員長
TBS	毎日新聞	設立発起人・戸原健爾	関西電力会長
フジテレビ	サンケイ新聞	社長・藤野野三	原子力委員長理事
テレビ朝日	朝日新聞	社長・渡辺昭敬	原子力委員長理事
		論議主幹・岸田純之助	原子力委員会委員
		論議委員・大隈由起子	審判「核燃料」で
テレビ東京	日経新聞	会長・円城寺次郎	朝日新聞社長
		テレビ東京取締役・朝井健一郎	原子力委員会委員
テレビ大阪		副社長・小幡庄一郎	核物質管理センター会長
近畿放送			関西電力会長
東海テレビ		社長・田中新一	中部電力社長
NHK		経営諮問委員・平岩外四	東京電力会長
		放送委員・渡方 彰	原子力委員会
		放送番組向上委員・十五千鶴子	原子力文化振興財団理事
		理事・放送総局長・田中武志	

以上